

## 「札幌版次世代住宅基準」の見直しにおける概要とスケジュール

### 背景

国の省エネ基準の改正（H25）

- 一次エネルギー消費量による基準が追加
- 年間冷暖房負荷/熱損失係数から外皮平均熱貫流率に変更

### 目標

札幌版次世代住宅基準適合住宅の更なる普及

省エネルギー関連における研究・開発の促進

- より実効性の高い指標へ
- 国の基準と合わせ、設計者等の負担軽減

### これまでの取組

【H24】

札幌版次世代住宅基準の創設、認定・補助制度の開始

- (参考) ・認定件数 **累計239戸** (H24～26)  
・着工戸数の**約21%**まで普及

【H25～26】

札幌版次世代住宅**モデル住宅**の建設（ウェルビーアひかりの）

- (参考) ・トップランナー 2棟  
・スタンダード 18棟  
・ベーシック 4棟

### ■前回の技術検討会議(H22)での普及目標

《2020年目標（累計）》

- トップランナー : 約 700戸  
ハイレベル : 約 1,400戸  
スタンダード : 約10,000戸  
ベーシック : 約 2,150戸

《これまでの実績  
(2012～2014)》

- トップランナー : 11戸  
ハイレベル : 7戸  
スタンダード : 62戸  
ベーシック : 158戸  
ミニマム : 1戸

2012 2015 2020

➢今後、目標達成のために基準をどう普及するか

### 見直しの方向性

#### 1. 評価・等級の見直し

技術検討会議（H22実施）での提言（建物の断熱・気密性を重視した指標とする、国の基準から無暖房住宅レベルまで約2割ずつ段階的に上げる）を維持しつつ、**指標等**の見直しを行う。

#### 2. 審査体制の見直し

制度開始から3年が経過し、申請件数が増加したため、**指定確認機関等による審査の実施**を見据えた検討を行う。

#### 3. 補助制度の見直し

スタンダード以上の普及を促進させるため、現在の補助制度の見直しのほか、**金融機関による金利優遇等の導入**に向けた協議を行う。

### スケジュール

【平成27年7月29日】第1回懇話会

顔合わせ、検討概要・スケジュールの確認、H22策定検討の振り返り、現行基準の課題確認、認定基準の見直し

【平成27年8～9月】第2回懇話会

第1回懇話会での内容を踏まえた意見交換及び課題整理

【平成28年9～10月】第3回懇話会

第2回懇話会での内容を踏まえた意見交換及び課題整理

【平成28年1～3月】改正の方向性について周知

新制度開始（平成28年4月～）

・基準の改正に係るマニュアル等の整理、補助制度・審査体制の見直し、関係各機関等に改正の方向性を周知